

# 環境に配慮した新しい水田施肥体系確立事業

## 1 事業の概要

表面がプラスチックでコーティングされた被覆肥料の被膜殻が、ほ場から流出することによる環境への影響が懸念される中、関係機関と連携し生産現場における被膜殻の流出防止対策を推進した。

## 2 令和4年度実績

被膜殻の流出防止対策のポイントを記載したチラシを20万部作成し、JA広報誌などを活用して関係機関や生産者へ配布した。併せて現地講習会等でも配布し、流出防止対策の徹底を呼びかけた。

また、県内14か所に実証ほを設置し、プラスチックによりコーティングされた被覆肥料の代替となる肥料の検討を行った。

**生産者のみなさまへ**

### 被覆肥料の被膜殻の流出防止にご協力ください

被覆肥料は、軽労化や施肥量の削減につながるなどの利点がありますが、表面をプラスチック等の被膜でコーティングしているため、水田では肥料成分が溶出した後の被膜殻が水面に浮上し、河川等へ流出する可能性があります。

**水田外へ流さないために**  
まずは出来る取組から始めましょう！

**被覆肥料**      **河川等へ流出した被膜殻**

JAグループ岡山      岡山県

**作業のポイント**

#### 畦畔管理

- あぜが崩れていないかを確認し、必要に応じてあぜ塗りやあぜシートを設置する。

**重要！ 浅水代かき**      流出した被膜殻の大半がこの時期のものです。

- 入水までに田面の高低差をなくす。
- 代かきは浅水で行う（表面が7～8割見える程度）。
- 田植え前の落水は行わず、自然落水で水位を調整する。

※これらは被膜殻だけでなく、濁水や肥料成分の流出防止にも有効な取組です。

**入水までに田面の高低差をなくす**      **代かきは浅水で**

#### 施肥方法・肥料の見直し

- 樹脂を使用していない肥料や流し込み液肥を導入する。
- 堆肥や緑肥などの有機質肥料を導入する。
- 土壌診断や栽培層等に基づいた適正施肥に努める。
- 施肥量の削減につながる側条施肥技術を導入する。

※肥料についてのお問い合わせはJA・肥料販売店をお願いします。

**樹脂を使用していない肥料**

お問い合わせ先一覧      対策動画      被覆肥料に関する情報

※このチラシは岡山県産業廃棄物処理税を活用して作成しています。

「被覆肥料の被膜殻の流出防止対策」チラシ

## 3 担当部署

農林水産部 農産課 安全農業推進班